

公表

ふわり 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふわり		
○保護者評価実施期間	2026年4月1日		～ 2026年4月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2026年4月1日		～ 2026年4月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年5月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	未就学児から高校生まで(医療的ケア児を含む)が関わる中で、異年齢交流を通じた社会性やコミュニケーション力の向上が期待できる	異年齢での関わりや遊びを通して、社会性や思いやり、コミュニケーション能力を育めるよう支援している	日々の活動をより充実させるため、職員同士で振り返りを行い、他事業所の取り組みや研修を通じて支援力向上を図っていきたい
2	作業療法士や言語聴覚士と連携しながら情報共有を行い、一貫した支援の提供に努めている	作業療法士や言語聴覚士不在時でも、職員全体で共通した支援を継続できる体制づくりを進めていく	作業療法士や言語聴覚士不在時でも、職員全体で共通した支援を継続できる体制づくりを進めていく
3	家庭・事業所との連携体制が整っている	ご家族と密に連携し、必要な情報共有を行いながら、得られた情報を職員間でも共有し日々の支援に活かしている	家庭・事業所との連携機会を積極的に設け、必要に応じて担当者会議も活用しながら、家族支援やライフステージに応じた移行支援につなげていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児の年齢層が幅広く、個々に応じた活動設定や支援調整に難しさがある	集団活動が中心となるため、一人ひとりの特性に応じたきめ細かな支援に課題がある	小集団活動や個別対応の時間を確保し、PDCAサイクルを活用しながら、一人ひとりに適した支援方法を職員間で検討・実践していく
2	保護者間で交流できる機会が限られている		保護者同士が交流できるイベントの企画・実施を検討していく
3	きょうだいや地域との関わりを持つ機会が限られている		交流イベントの企画や事業所参観の実施環境を整えるとともに、地域行事へ参加できる機会づくりを進めていく

公表

## ふわり 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふわり			
○保護者評価実施期間	2026年 4月 1日		～	2026年 4月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2026年 4月 1日		～	2026年 4月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 20日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	未就学児から高校生まで(医療ケア児を含む)の幅広い年齢層が在籍し、異年齢交流が図れる	異年齢・異学年での関わりを通して、社会性・協調性・コミュニケーション能力の向上につながるよう活動内容を工夫している	活動後の振り返りを職員間で行い、他事業所の事例や研修内容も取り入れながら、より効果的な関わり方の検討・共有を行う
2	言語聴覚士による専門的支援を受けられる体制がある	言語聴覚士からの助言を日々の支援に反映できるよう、職員間で情報共有を図り、支援の統一を意識している	言語聴覚士の関与がない日でも同様の支援が実施できるよう、支援方法のマニュアル化や記録の充実を図る
3	家庭・学校・関係機関との連携を大切にしている	保護者や学校と日常的に情報交換を行い、得られた情報を職員間で共有し、支援に反映している	担当者とのモニタリングや移行支援などを通して、就学・就労等のライフステージ移行を見据えた支援につなげていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢層の幅が広く、個々に合わせた活動や支援の設定が難しい場合がある	集団活動が中心となる場面が多く、一人ひとりの発達段階や特性に応じた関わりが十分に行き届かないことがある	小集団活動や個別対応の時間を意識的に確保し、PDCAサイクルを活用して個々に応じた支援内容の見直し・改善を図る
2	保護者同士が交流する機会が少ない	親の会以外で保護者同士が関わる機会が限られている	保護者参加型の行事や情報交換の場を企画し、気軽に交流できる機会を検討していく
3	きょうだいや地域との交流機会が少ない	外部イベントへの参加機会や受け入れ体制が十分でない	事業所内イベントへのきょうだい参加や地域行事への参加を促進し、地域とのつながりを意識した活動機会を増やしていく